

ともに生きる

No.11



会員の皆様へ

後援会長

奥藤昌己

第3回学位記授与式を迎える卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。ご家族の皆様におかれましても、立派に卒業の日を迎えられたお子様を前に喜びもひとしおのことと存じます。

昨今、社会では子供に対する不幸な事件が続いていることが多く、福祉を学ばれた皆さんほどのように感じておられるのでしょうか。

私は、人の命の尊さがこの社会では、薄れてきているのではないかと思います。そのような社会の中で本学に於いて『こころ』の福祉を学ばれた皆様が、命の尊さを訴える代弁者となられることを大いに期待しております。

これから皆さんは大学で得た多くの知識・技術を生かして、社会に飛び出すことになります。そして社会生活の中で様々なことを経験し、そこから『学び』が得られると思っております。

そして将来、社会人として自ら得た『学び』を他者に伝えることができるようになりはじめて本当の『学び』となるのではと考えます。

大学生活での友人との関係も、自分自身を成長させてくれる学びになっていなかつたでしょうか。視野を広く持てば感性も豊かになると思います。その豊かな感性を持ち続けて欲しいと願っています。

人が社会に出る事が出来るのは、自分一人ではなく、家族・友人・先生方をはじめ出会った人々の支えがあったからではないでしょうか。

今後は、皆さん一人ひとりが責任ある行動をとり、厳しさに負けずに、人を支える担い手となってください。

会員の皆様には書面での報告となります。昨年度からの引き続き、念願のマイクロバスの購入を本年度執行しました。クラブ活動等、学生の活動に有効に利用されますように願います。多目的ホール・弓道場も新たに完成いたしました。大学へ足を運ばれた時は、是非お立ち寄りください。

最後になりましたが、後援会会員の皆様をはじめ教職員の皆様方に、後援会活動におきまして温かいご理解とご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

今後も、学生の意見を最大限に尊重し、学生のことを第一に考えることのできる、後援会活動になればと願っている次第です。

近畿福祉大学のご発展とご活躍を、こころよりお祈り申しあげます。



後援会の皆様へ

『第3回学位記授与式を 迎えるにあたって』

学 長

大 羽 薫

後援会の皆様、お変わりございませんか。今冬は、格別の寒気で、テレビニュースのインタビューに出られた新潟県の人は、「昭和38年以来の大雪」と言っておられましたが、保護者の皆様方の地域ではいかがでしたでしょうか。近畿福祉大学は自然に囲まれた場所故に、風あたりの強い毎日でしたが、学生諸君は寒さに負けず、学年末の仕上げも終えました。2月中旬現在、すでに試験も終って、教職員はまとめの作業や次年度の準備で大忙しですが、学内は見かけ上、大変静かになっております。「冬来りなば、春遠からじ」という所でしょうか。

1月29日(日)は、社会福祉士国家試験でした。大学として出来る限りの指導と対策を講じて来ましたが、担当の先生方は学生と共に、前日にバスでホテルまで同行し、泊り込みで指導をして下さいました。大変難しい国試ですので、どこまで報われるかわかりませんが、先生方の御苦労を思い感謝の気持ち一杯です。私は学生・教職員の働きを、じっと見つめながら、良い成果が与えられますようにと心の中で祈り続けております。

ところで、この度、平成18年度の本学教育の基本計画をとりまとめました。それには、次のようなものがあります。

「教育内容の改善・充実」「国試対策等の強化」「学生指導の充実」「就職支援体制の強化」「施設・設備の改善向上(バリアフリー化の徹底)および校内美化」

以上の項目は、ありきたりの表現に見えますが、いずれも各部局が開学以来の現実的経験をもとに真剣に取り組んできたものであり、本学が更に立派な大学として発展できるよう具体的目標を示したものです。いずれ保護者の皆様にも詳しい内容をお知らせできると存じます。

昨年の秋、10月29・30日、近畿福祉大学の第6回播彩祭(学園祭)が開催されました。テーマの「Bring up a SEED」には、種を大きく育てて行きましょうという想いを込めたとか、「…歴史や伝統はまだまだ発展途中ではありますが、もう既に育てていく時期に入っていることを、日々の積み重ねにより感じ取っています。…」との実行委員の挨拶からもわかりますように、まじめで意欲にみちた学生が成長しているように思います。

当日は、保護者の集まりも致しまして、200人以上の皆様にお話しを致しましたが、丁度前日、私の尊敬する大学の先輩(日野原重明 聖路加国際病院名誉院長 94歳)が文化勲章を受けられ、テレビのインタビューで「私のしていることは、私のミッション(使命)です」と言われたことを想い出し、日野原先輩に習って、保護者の皆様に「先輩よりは若いですが、高齢者の私にとって、本学の仕事は私の人生最後のミッションかと思います」というようなことを申し上げた次第です。

3月15日には第3回学位記授与式(卒業式)を迎えますが、本年も大学発展のために全力を尽したいと思いますので、何卒宜しくお願ひ致します。皆様の御健勝をお祈り申し上げます。



平成 17 年度 近畿福祉大学教育懇談会（大学報告）

平成 17 年 10 月 29 日（土）近畿福祉大学教育懇談会を開催いたしました。

今年度につきましては、本学会場のみの開催ということもあり遠方の皆様方にはたいへんご不便をお掛け致しましたが、最終的には 127 組の後援会員の皆様にご出席いただくことができました。

この懇談会では、本学の現況報告をはじめ、成績の修得や就職問題など、学生生活に関する諸問題について、学長をはじめ担当の教職員よりご説明させていただきました。また、学生それぞれの状況に関する個別相談コーナーにつきましても約 100 組の皆様にご参加いただきました。

相談内容の多くは、資格取得や就職に関するものであります。大学としましても、この結果を踏まえ会員の皆様のご要望に応えるべく、これまで以上に学生支援に力を注ぎたいと考えております。

懇談会当日は第 6 回 播彩祭（学園祭）初日と重なっておりましたが、会員の皆様のおかげで学園祭はさらに盛り上がり、かつてない賑わいとなりましたこと感謝申しあげます。またご出席いただいた皆様には学生達の活き活きとした姿をご覧いただけたことと存じます。

文末となりますが、今後も本学の教育活動に益々のご支援ご協力賜りますようお願い申しあげます。

なお、平成 18 年度の教育懇談会につきましては、開催時期・開催場所等再検討いたしましてご案内させていただきたいと考えております。会員の皆様多数のご来場をお待ちしております。

喫煙は病気

日本循環器学会など九学会の合同研究班からの指針によると、「これまで喫煙は嗜好とされてきたが、ニコチン依存症と関連疾患からなる喫煙病」とする踏み込んだ考え方が示されました。

近畿福祉大学における受動喫煙防止対策について

健康増進法第 25 条「受動喫煙の防止」（平成 15 年 5 月 1 日の施行）を受け、本学では敷地内全面禁煙に向け対策を講じてまいりました。

平成 16 年 10 月には学生・教職員による学内パトロール・学内クリーン作戦・たばこ販売の禁止等を実施し学内原則禁煙（指定場所は除く）【建物内禁煙】の徹底を図りました。

兵庫県においては教育機関である大学敷地内禁煙を平成 17 年度の達成目標としており、本学においてもその目標を遵守すべく禁煙指導に取り組んでまいりました。

平成 18 年度には更に禁煙指導を充実させるとともに、指定場所以外での喫煙者に対しては、学則に従い厳しく指導を行うことも視野に入れ指導方法を現在検討しております。

全国的にも歩行喫煙等、禁煙指定区での喫煙に対しては罰則規定が設けられるなど、ますます喫煙に対する規制が厳しくなっているのが現状です。近年、多くの職場では「禁煙」が常識となってきており、「喫煙の習慣」があるなしで就職採用の可否が決定されることも珍しくなってきています。本学の多くの学生は、将来、福祉分野で中心的役割を担っていく人材であります。喫煙に関する正しい知識を持ち、健康な体で社会に貢献いただきたいものです。

後援会会員の皆様におかれましても、禁煙指導に対しましてご理解・ご協力賜りますようお願い申しあげますとともに、「効果的な禁煙指導がある」など禁煙指導に関しましてご意見等ございましたら学生部までご連絡賜りますようお願い申しあげます。

『家族や仲間をいたわる心でタバコ ゼロ』（ひょうご健康づくり県民行動指針標語）

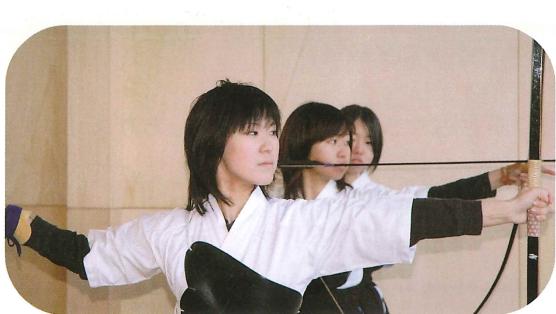
多目的ホール・弓道場が完成しました

平成 17 年 12 月 1 日

この施設は、体育等の正課授業をはじめ、各学生団体の課外活動の場として利用されることとなります。

多目的ホールは柔道部・合気道部等が利用できる畳の部屋と剣道部や卓球部等が利用できるフローリングの部屋があります。これまで活動場所が一定でなかった団体にとっては腰を据えて練習できる本拠地ができた事になります。これを機に大いに鍛錬に励んでいただきたいと思います。

また、弓道場につきましては、これまで仮設の練習場で 5 年間がんばってきた、弓道部にとっては大きな褒美となったのではないでしょうか。活躍を期待したいものです。



JR 福崎駅前に新しくバスロータリーができました

平成 18 年 1 月 16 日

福崎駅 — スクールバス乗車場の距離はこれまでの 1/4

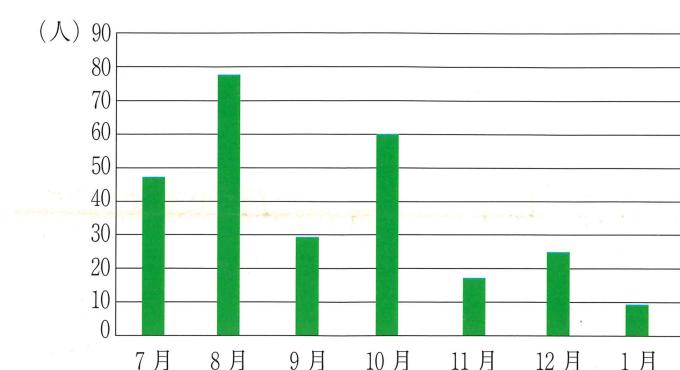
大学 — 福崎駅間の乗車時間は約 5 分となります。



近畿福祉大学 ボランティア活動支援センター

【活動内容】

①ボランティア依頼状況



- ・依頼件数：61件
- ・参加者人数：265人
(開設時～2月現在)



②ボランティア活動支援センター（以下ボラセン）スタッフの研修会・勉強会・講習会

- 7月 立命館大学ボランティア活動支援センターの一周年記念イベントに参加
- 8月 学生ボランティア国際大会に参加
夏季休業中：スタッフ各自でボランティア活動に参加、社協訪問を行う。
- 11月 輝いておかやま大会（全国障害者スポーツ大会）を観察
- 1月 福崎町社協との交流会を開催
- 2月 大学ボランティアセンター学生スタッフセミナーに参加
担当教職員によるスタッフ相談会を開催予定



③ボラセン主催のイベント

- ・開設前の説明会（2回）
- ・10月 ガイダンス開催



④学内イベントへの参加

- ・10月 播彩祭に参加
(『社会福祉法人ゆたか会』主催のウォークラリー、福崎保健所主催のエイズキャンペーン)
- ・12月 学友会主催のクリーン作戦



⑤その他

- ・ボランティア団体との会議（平成17年8・10月の計二回）
- ・福崎社協訪問（平成17年12月）

⑥これから抱負

開設してまだ半年弱ですが学生スタッフ一同、ボランティアの情報提供や学生・施設・地域とのつながりを考え日々、試行錯誤で活動しています。まだまだしっかりとした基盤が作れていませんが、我が大学ならではの特性を活かし立派なボランティアの窓口となりたいと思っています。これからもご支援の程、よろしくお願いします。

平成 18 年度 行事予定

月	期 日	内 容
4	1(土)～8(土) 5(火) 6(木)～8(土) 10(月)	在学生ガイダンス・健康診断 第6回 入学式・後援会総会 新入生オリエンテーション 前期授業開始
5	8(月)～6/10(土)	精神保健福祉援助実習1回目 (福祉心理学科3年)
6	5(月)～7/2(日) 12(月)～7/15(土) 上旬 下旬	介護実習 第2段階 (介護福祉学科3年) 精神保健福祉援助実習2回目 (福祉心理学科3年) 姫友戦 〔スポーツセクション〕 学友会主催クリーン作戦 (町内清掃奉仕活動)
7	25(火)～27(木) 28(金) 下旬	補講・集中講義期間 前期試験 〔8月9日(火)まで〕 後援会役員会
8	13(日) 21(月)～9/22(金) 21(月)～9/23(土)	夏季休業開始 〔9月10日(日)まで〕 精神保健福祉援助実習3回目 (福祉心理学科3年) 社会福祉援助技術実習1回目 (社会福祉学科3年) 介護福祉学科4年 福祉産業学科3年)
9	11(月)～22(金) 25(月)～30(土) 25(月)～10/28(土) 25(月)～11/4(土)	補講・集中講義期間 再試験期間 精神保健福祉援助実習4回目 (福祉心理学科3年) 社会福祉援助技術実習2回目 (社会福祉学科3年) 介護福祉学科4年 福祉産業学科3年)

月	期 日	内 容
10	2(月) 2(月)～15(日) 28(土)・29(日)	後期授業開始 介護実習第1段階 (介護福祉学科2年) 播彩祭(学園祭)
11	6(月)～12/16(土) 下旬	社会福祉援助技術実習3回目 (社会福祉学科3年) 介護福祉学科4年 福祉産業学科3年) 精神保健福祉援助実習5回目 (福祉心理学科3年) 学友会主催クリーン作戦 (町内清掃奉仕活動)
12	22(金)～26(火) 27(水)	補講・集中講義期間 冬季休業 〔平成19年1月8日(月)まで〕
1	9(火) 29(月)～2/9(金) 下旬 31(水)～2/2(金)	後期授業再開 後期試験 社会福祉士国家試験 追試験期間
2	5(月)～3/10(土) 23(金)～27(火) 下旬	精神保健福祉援助実習6回目 (福祉心理学科3年) 再試験期間 後援会役員会
3	15(木)	学位記授与式(卒業式)



国家試験カウントダウン

平成17年度の歩み

学友会運営委員会

委員長 文野翔太

今年度、学友会運営委員会の主催行事についての報告をさせて頂きます。

まず、4月に新入生歓迎会を行いました。毎年行っている恒例行事ですが、今年も多くの新入生の参加があり、大変な盛り上がりを見せました。新入生の皆さんに楽しんでもらうことをテーマとした行事でしたが、『いい笑顔』をたくさん見ることができ、こちらまで元気を分けてもらったような気がしました。

次に、7月・12月にはクリーン作戦を行いました。この行事も学内及び町内の清掃を目的とし毎年の恒例行事となっています。学生や町内の方々にも協力して頂いたことで、新たな交流も生まれました。これからも、こうした人と人との繋がりを大切にし、「継続は力なり」を合言葉に取り組んで行きたいと思います。

今年度、ボランティア活動支援センターが設立されるなど、開学から6年が経ち学生団体の総数が増えてまいりました。当然のことですが、各団体の予算請求も増え、その振り分けが難しくなり苦労することも多くなってきています。しかし、これは学生の活動が活発になってきた事の現われでもあり、大変喜ばしいことあります。これからも学生のクラブ活動を最大限応援するように予算執行の責務を果たしていきたいと思います。

最後になりましたが、後援会の皆様には、ご指導ご協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。



学友会運営委員会



ドミトリー主催 新入寮生歓迎会



歳末クリーン作戦 (H 17. 12. 19)



ドミトリー(寮生)企画旅行 ナガシマスパーランド

平成18年度 後援会総会の開催について（ご案内）

後援会総会を入学式終了後、新入生会員の方々とともに、下記のとおり開催いたしましたくご案内申し上げます。何かとご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 平成18年4月5日（水）12:00
2. 場 所 近畿福祉大学 A棟 大ホール
3. 主な内容
 - 1) 役員挨拶
 - 2) 大学挨拶
 - 3) 平成17年度事業報告並びに監査報告
 - 4) 平成18年度事業計画案並びに予算案

※総会当日は、入学式が挙行されているため、式終了までは控室（学生食堂）をご用意いたしております。

以上

ご出欠の返事につきましては、お手数ながら同封のはがきにて、4月1日（土）【必着】までにご返送ください。

なお、ご欠席の場合は、委任状の記入をお願い致します。



学園祭



お便りコーナー

事務局では会員の皆様からの『もっとこういうことが知りたい』などのご意見、お便りをお待ちしております。またインターネットや携帯電話をご利用のうえ右記E-mailアドレスに送信いただいても結構です。どうぞよろしくお願ひします。

発行日：2006年3月1日
発 行：近畿福祉大学後援会

事務局 学生部

〒679-2217 兵庫県神崎郡福崎町高岡 1966-5

TEL (0790) 22-2528

FAX (0790) 22-6941

E-mail:gakuseibu@kinwu.ac.jp